

## 重大製品事故（温水機器）

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式	ガス種	事故内容	製品の 使用期間	事故原因		対応
							内容	(原因区分)	
2023/11/20	愛媛県	ガス給湯器(屋外式)	PH-16CW	LPガス	火災	約32年	集合住宅で火災報知器が作動し防火扉が閉まったことに気づき消防へ通報。給湯器の上部にある電気メーターのカバーが溶けていた。消防での合同調査の結果、長期使用(約32年)により集熱器のフィンが目詰まりして燃焼不良となり、排気に未燃ガスが混じるようになったところへ、火の粉等により引火し周辺を焼損したものと推測された。フィンが目詰まりした原因は、設置環境による燃焼排ガスのリサイクルも要因の一つであったと推定される。	(経年劣化及び維持管理の不備)	製品に起因しないと判断。ホームページの注意喚起にて対応。
2023/01/08	神奈川県	ガス小型湯沸器	PH-5TB(29)	都市ガス	火災	約30年	小型湯沸器より発火した。ガス栓は閉止状態で未使用だったが、臭いと煙で機器が焼け落ちていたと気付いた。	(原因不明)	弊社のホームページに事例掲示にて対応。
2022/01/16	神奈川県	ガス小型湯沸器	PH-5TB(29)	都市ガス	火災	約29年	点火ボタンの上部が焼損した。2月1日消防、東京ガスとの合同調査が実施された。発生原因は、異物の侵入に気づかず湯沸器を使用したため異物が燃えたもので製品に起因した火災ではなかったと判断された。	(製品に起因しない)	消防の見解により、機器に起因しないと判断。取扱説明書の注意喚起にて対応。
2019/06/01	徳島県	ガス給湯器(屋外式)	PH-1600SC	LPガス	火災	約30年	集合住宅のベランダに設置されていた当該製品の排気口より炎が上がり、エアコン用冷媒被覆銅管の断熱材が焼損した。当該製品の前方に洗濯物が干される状況下、長期使用(約31年)により熱交換器の閉そくが進行、不完全燃焼となり、未燃ガスが排気口から排出した後引火したものと推定した。	(経年劣化及び維持管理の不備)	製品に起因しないと判断。ホームページの注意喚起にて対応。
2018/01/12	千葉県	ガス小型湯沸器	PH-5号F	LP	1名死亡	約40年	不完全燃焼防止装置が搭載されておらず、熱交換器フィンにすすやほこりが堆積していた状態の開放式ガス湯沸器にて約45分間浴槽へ湯はりをしたため、不完全燃焼が起き一酸化炭素中毒により1名が亡くなった。	(経年劣化及び維持管理の不備)	長期間の放置と換気不足と考えられ、不完全燃焼防止装置付器具への買替促進を行っている。
2017/12/17	秋田県	ガス小型湯沸器	PH-55B-1	LPガス	火災	約8年	消火ボタンを押したところ、水は止まったものの火が消えずボタン上部が焦げた。器具栓に使用されるリング押えの装着不良があり繰り返し使用するうちに外れ、リングの位置がずれたため気密性を損ない、本症状に至ったものと推定した。	(製品起因)	リングの固定方法を変更した。

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式	ガス種	事故内容	製品の 使用期間	事故原因		対応
							内容	(原因区分)	
2017/04/28	東京都	ガス給湯器(屋外式)	PH-16CW	都市ガス	火災	約15年	熱交換器に大量の煤が付着し閉塞、不完全燃焼となった。不完全燃焼の未燃ガスに引火し電気メーターを焼損した。	(経年劣化及び維持管理の不備)	消防の見解により、経年劣化と維持管理不足によるものと判断。弊社ホームページの注意喚起にて対応。
2017/02/19	広島県	ガスふろ給湯器	FH-241AWD	都市ガス	火傷	約17年	シャワーにて体を洗った後、湯船に右足をいれたら熱く沸いていて火傷した。ガス石油機器PLセンターによる調査においても短時間でやけどを負うような高温のお湯はりは再現されず、その他製品の不具合は確認されなかった。	(原因不明)	製品に起因する事故か否かを特定できなかった。ホームページの事例掲載にて対応。
2015/10/26	神奈川県	ガス給湯器(FF式)	PH-16CWT(10)	LPガス	火災	約23年	当該製品の一部分が焼損した。メンテナンスを受けずに長期使用(約23年)されたことにより排気の通路が閉塞し異常燃焼が発生したものと推定した。	(経年劣化及び維持管理の不備)	消防の見解により、経年劣化と維持管理不足によるものと判断。弊社ホームページの注意喚起にて対応。
2013/11/12	千葉県	ガスふろ給湯器	FH-1600MS	都市ガス	火災	不明	当該製品を使用後に住宅を半焼する火災が発生した。長期使用による熱疲労によって燃焼室部分の一部にひびが生じ火炎の一部が吹き出した際、ひびの発生場所が過熱防止装置の作動する範囲から外れたことにより過熱防止装置の作動が遅れ、製品の背面が過熱され火災に至ったものと判断した。 当該製品は1991年3月23日からリコール実施対象機種であったが、未処置のものであった。	(製品に起因)	2013年11月に再度の周知を実施、未改修製品について同等品への無償交換を実施している。
2013/04/02	奈良県	ガス給湯器(屋外式)	PH-20KW5(50)	都市ガス	火災	約18年	集合住宅に設置された当該製品の排気口から炎が出て、屋根のひさし部分が黒く焦げ、樹脂製の雨樋が溶融した。消防は経年劣化によるもの、ガス石油機器PLセンターは経年劣化及び所有者の維持管理不足によるものとして調査を終了した。	(経年劣化及び維持管理の不備)	消防及びPLセンターの見解により、経年劣化と維持管理不足によるもので製品に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。
2013/01/30	香川県	ガス給湯器(屋外式)	PH-16CB	都市ガス	火災	20年以上	ガス瞬間湯沸器後方の壁面の一部が焦げた。消防等との合同調査の結果、長期使用により排気通路が塞がれ、機器内が異常過熱に至ったものと推定した。	(経年劣化)	消防の見解により、経年劣化によるもので製品に起因しないと判断。ホームページに事例掲載にて対応。
2012/11/16	大阪府	ガスふろ給湯器	FH-242AWDL(20)	都市ガス	火傷	約4年	使用者が当該製品にて浴槽へ湯張りした湯を再度追い焚きしてから入浴した際、浴槽の湯で、左足首やや上の部分から腫、足の甲周辺に火傷を負われた。修理の際部品の取り付け間違いにより浴槽の湯の温度が正確に検知できなくなり高温となったことによる修理時の不備が原因であった。	(修理時の不備)	交換部品の構成を改善し、修理時の部品の誤取り付けを防止した。修理後の機器の動作確認の再徹底を実施した。

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式	ガス種	事故内容	製品の 使用期間	事故原因		対応
							内容	(原因区分)	
2012/04/11	東京都	ガス給湯器(BF式)	PA-112BF (PH-12BFA)	都市ガス	火災	不明	当該機器の操作つまみ、台所の一部が焼損する火災が発生した。当社は湯沸器内部よりも外部の焼損が激しいことから、外部からの炎によるもので、製品に起因しないものとして調査を終了した。また消防の調査においては、原因の特定に至らず、調査を終了した。	(原因不明)	消防の見解は原因不明であるが、当社の検証結果及び1年間継続監視を実施し、同類事故の発生無く、多発の可能性がないと判断。ホームページに注意喚起にて対応。
2011/03/04	東京都	ガス給湯器(CF式)	PH-24A(40)	都市ガス	火災	不明	デパートの店舗の厨房で当該機器を使用中、ダクトと天井の隙間から出火した。消防は、機器の欠陥等によるものではなく、使用環境や経年劣化の影響を受けてのもので、機器に起因しないと判断し調査を終了した。	(製品に起因しない)	消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。
2011/02/26	北海道	ガス給湯器(FE式)	PH-16CBF	LPガス	火災	21年	使用者が当該機器を使用中、本体後方より煙が発生した小火があった。ガス事業者からの依頼により弊社にて調査した結果、長年の使用により多量の埃やスス詰まりが生じ、燃焼不良の状態となり、その状態で使用を続けたことでさらに燃焼不良が進行したものと推察した。	(経年劣化)	消防の見解により経年使用が原因であり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。
2010/06/10	宮城県	ガス給湯器(FE式)	PH-16CSF	LPガス	火災	20年	当該機器を使用中に、当該機器の排気筒が壁部分を貫通する隙間から煙が出て、当該機器を取り付けている壁面が焦げた。当該機器は長時間使用において燃焼室部分の一部にひびなどが生じる事があった場合、過熱防止装置(温度ヒューズ)の作動がおくれ、機器の背板が過熱される事があるとして1991.3.23に「点検と温度ヒューズの追加取り付け作業のお願い」を告知した対象商品であったが、使用者からの点検依頼を弊社が受けておらず、当該機器の点検はされていなかった。	(製品に起因)	弊社のホームページにて点検・改修の周知にて対応。
2010/01/15	京都府	ガス給湯器(屋外式)	PH-16CW(50)	都市ガス	火災	約15年	屋外式の当該機器の排気口から炎が出た。消防は、経年使用と設置環境により埃等が附着し燃焼に影響を与えた事が原因として調査を終了した。	(設置の不備)	消防の見解により経年使用と設置不備が原因で、機器に起因しないと判断。弊社のホームページに注意喚起にて対応。

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式	ガス種	事故内容	製品の 使用期間	事故原因		対応
							内容	(原因区分)	
2009/12/19	埼玉県	ガス給湯器(CF式)	PH-161M	都市ガス	火災	約13年	当該機器を使用中に当該機器の上方のダクトの一部が熱損した。 警察・消防・弊社で現場検証をしたところ、当該機器はCF自然排気式湯沸器で排気の設備が必要だが、厨房の共用換気ダクトに排気筒の設備なしで設置されていた。消防・警察は、経年使用によりダクト・当該機器に付着した多量の油脂が落ちて発煙・発火したもので、清掃不備が原因との見解で調査を終了した。	(不注意)	消防の見解により使用者のお手入れ不足が原因であり、機器に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。
2009/12/04	千葉県	ガス小型湯沸器	PH-5TF	LPガス	火災	不明	当該機器上方の樹脂製(エンビ)の水道配管が黒く変色していた。消防は、樹脂製水道管と当該機器に多量の油が付着していたことから、長年業務用で使用し堆積した油が炭化して発火したもので、使用者の不注意が原因との見解で調査を終了した。	(不注意)	消防の見解により使用者のお手入れ不足が原因であり、機器に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。
2009/06/29	東京都	ガス給湯暖房熱源機	DH-N2412AWDL4-1	都市ガス	火災	1年7ヶ月	当該機器を使用中に機器上部排気筒付近から火が出た。警察、消防、ガス事業者及び弊社で現場検証をしたところ、当該機器にガス漏洩は無かった。また、機器内部に熱損等の跡は無いが、排気筒に焼けた跡があった。消防は、外的要因も考えられるが、原因不明として調査を終了した。	(原因不明)	消防の見解により機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例掲載にて対応。
2009/06/03	兵庫県	ガスふろ給湯器	FH-16AWD	都市ガス	火傷	12年	当該機器でシャワーを使用中、同時に洗面所で家人がお湯を使用し、止めた際に、急にシャワーが熱くなり火傷を負った。弊社で同状況にて再現テストをしたが、再現できなかった。	(原因不明)	当社の検証結果及び1年間継続監視を実施したが、同類事故の発生無く、多発の可能性がないと判断。弊社のホームページに注意喚起にて対応。
2009/06/02	東京都	ガス小型湯沸器	PH-5BW	都市ガス	火災	13年	当該機器を使用中に、当該機器の上方に設置してある換気扇の紙フィルターの一部を熱損した。消防は、機器に異常はなく、連続点火時のあふれ着火と推測するが、再現できなかった。	(設置の不備)	消防の見解により、機器に起因しないと判断。弊社のホームページに注意喚起にて対応。
2008/10/23	東京都	ガス給湯器(屋外式)	PH-20CW	都市ガス	火災	約13年	当該機器の排気口の前先15cmに物干し竿が設置されており、その表面の樹脂が燃えた。消防は、13年使用の経年劣化により熱交換器の集熱フィンに燃焼生成物が徐々に堆積し熱交換器が塞がり燃焼不良になったのが原因として調査を終了した。 尚、当該機器の排気口の前15cmに物干し竿が設置されている事は条例に適合しない。	(設置の不備)	消防の見解により可燃物が設置基準に適合しない場所にあった事と、水漏れもあり経年劣化が要因であると判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式	ガス種	事故内容	製品の 使用期間	事故原因		対応
							内容	(原因区分)	
2008/09/23	大阪府	ガス給湯器(屋外式)	FH-1600MS	都市ガス	火傷	20年	使用者が当該機器(約60℃の定温出湯型)でシャワーを浴びようと混合水栓の水栓を少し開けて湯栓を開いたところ、熱湯が下腹部から足にかけてかかり火傷を負った。弊社が現場で、湯栓のみを開いて出湯温度を確認したところ、最高温度は58℃であり熱湯がでることは再現できなかった。外部機関も同様の結果であった。	(製品に起因しない)	PLセンターの見解により機器に起因しないと判断。弊社ホームページに注意喚起にて対応。
2008/04/16	京都府	ガス給湯器(屋外式)	PH-16CB	都市ガス	火災	約19年	当該機器を使用中に排気口から炎が出て、排気口の前方の金属製配水管の塗装の一部が焼損した。 19年間の長期使用により燃焼用空気が減少したことで排気通路に燃焼生成物が堆積したことが原因と推定した。	(経年劣化)	経年劣化が原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。
2007/08/01	愛知県	ガス小型湯沸器	PIH-5SC (PH-5TF)	都市ガス	火災	不明	当該機器の上部より約5cm炎が上がった。消防は、機器の排気フード部に溜まっていた油脂に引火したものとした。	(不注意)	経年劣化と清掃不備が原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。
2007/04/18	京都府	ガス小型湯沸器	PH-507B (PA-3100CF)	都市ガス	ボヤ	不明	湯沸器への接続ゴム管の亀裂部から漏れ出たガスにこんろの火が引火した。	(維持管理の不備)	消防の見解により、機器以外からのガスの漏洩があり機器に起因しないと判断。弊社のホームページに事例として掲載し注意喚起。
2007/03/27	埼玉県	ガス小型湯沸器	PH-5TF	LPガス	ボヤ	不明	湯沸器使用中にフード部付近より発火、レンジフード等付近が焼損した。湯沸器の排気通路に異物が入り、湯沸器燃焼時に異物に引火したものと推定した。	(維持管理の不備)	当該機器に不具合はなく、機器上方に樹脂があり、それが溶融したのが原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。
2007/03/06	富山県	ガス小型湯沸器	PH-5TF	都市ガス	ボヤ	16年	湯沸器上部の換気扇に溜まった油が、湯沸器の熱により燃えた。	(不注意)	当該機器に不具合はなく、上方の換気扇に油脂が付着しており、設置上の問題が原因であるため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。
2007/03/02	東京都	ガスふろ給湯器	FH-100AM	LPガス	ボヤ	約20年	ブレーカーが作動し製品の配線の一部が焼損した。電源回路がショートしたものと推定したが、原因の特定には至らなかった。	(原因不明)	機器の安全装置が作動して被害拡大の可能性がない、また、多発性もないと考え、弊社のホームページに事例掲示にて対応。
2007/02/12	福岡県	ガス給湯器(CF式)	PH-12号A	都市ガス	1名CO中毒	1年	排気設備の不具合に加え使用者の誤使用	(設置の不備及び誤使用)	排気設備の不具合による。弊社のホームページに注意喚起にて対応。

事故発生日 (西暦)	地域	品目	型式	ガス種	事故内容	製品の 使用期間	事故原因		対応
							内容	(原因区分)	
2007/02/03	新潟県	ガス給湯器(CF式)	PH-81M	LPガス	10名CO中毒 (軽症)	4年	排気設備の不具合に加え使用者の誤使用	(設置の不備及び誤使用)	機器に起因するものではないため、弊社のホームページに注意喚起にて対応。
2006/07/17	東京都	ガス給湯器(CF式)	PH-81M	都市ガス	1名CO中毒死亡 2名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用(排気ダクトファンを停止したまま湯沸器を長時間使用)	(排気設備の不備及び誤使用)	—
2006/03/20	秋田県	ガス給湯器(FE式)	PH-20CWF	LPガス	CO中毒	不明	排気設備の不具合	(排気設備の不備)	—
2005/11/28	東京都	ガス給湯器(FE式)	PH-81F	都市ガス	1名CO中毒死亡	約23年	改造による安全装置不作動	(改造による安全装置不作動)	—
2005/06/24	東京都	ガス給湯器(CF式)	PH-81M	都市ガス	7名CO中毒	不明	排気設備の不具合に加え使用者誤使用(機器内部に大量の埃、ススが堆積し、給排気設備である屋上ファンが作動していなかった)	(排気設備の不備及び誤使用)	—
2005/05/29	北海道	ガス給湯器(FE式)	PH-16CWF	LPガス	CO中毒	不明	排気設備の不具合	(排気設備の不備)	—
2005/02/20	大阪府	ガス給湯器(CF式)	PH-101M	都市ガス	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合(排気フードの屋外部に設置された防鳥網が油等で目詰まり)	(排気設備の不備)	—
2005/02/10	茨城県	ガス小型湯沸器	PH-5BW	LPガス	ポヤ	製造年月より推定、9年	湯沸器が未使用の状態外出	(不注意)	—
2004/09/11	秋田県	ガス給湯器(CF式)	PH-6号F	都市ガス	3名CO中毒	不明	排気設備の不具合(台風による排気筒倒壊)	(排気設備の不備)	—
2004/04/04	新潟県	ガス給湯器(CF式)	PH-81M	都市ガス	4名CO中毒	不明	排気設備の不具合	(設置の不備)	—
2004/02/29	兵庫県	ガス給湯器(屋外式)	PH-20CW	LPガス	ポヤ	約8年3ヶ月	設置不備	(設置の不備)	—
2004/01/18	東京都	ガス給湯器(CF式)	PH-101M	都市ガス	2名CO中毒	不明	排気設備の不具合(排気筒の断面積不足、立上不足等)	(設置の不備)	—